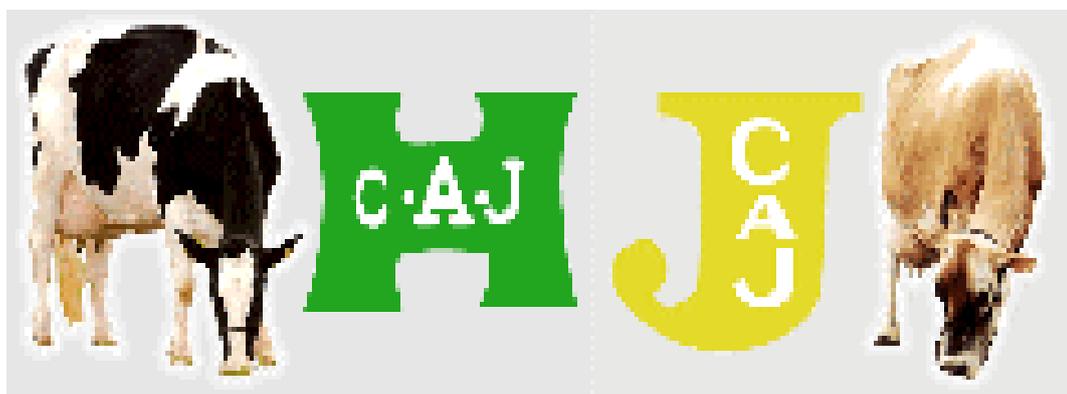


インターネットで授精報告する皆様へ

自動登録マニュアル

自動登録を円滑に実施するために



平成23年5月

(社)日本ホルスタイン登録協会

TEL 03-3383-2501

FAX 03-3383-2503

〒164-0012 東京都中野区本町4-38-13

ホームページ <http://hcaj.lin.gr.jp>

Eメール hcaj@hcaj.or.jp

自動登録を円滑に実施するために！

自動登録を行うためには、正確な授精報告と速やかな出生報告が不可欠です。そのためには、次の作業を必ず行っていただくようお願いします。

1. 日本ホルスタイン登録協会のホームページを利用して、授精記録を入力・送信して下さい
→詳細は2ページをご覧ください
2. 子牛が生まれたら、3日以内に個体識別耳標を装着し、速やかに家畜個体識別センターへ「出生報告」を届出して下さい
→詳細は5ページをご覧ください
3. 子牛の希望名号、雌双子、赤白斑、異常斑紋、異性双子、虚弱体質、死亡したときなどは、出生報告後7日以内に「自動登録実施農家連絡書」に記入し、F a xで連絡して下さい
→詳細は6ページをご覧ください
4. 子牛は母牛の所有者名義で登録されます。同一家族内で登録牛の所有者を変更するときは、「登録牛の同一家族への所有者変更届」に記入し、F a xで連絡して下さい
→詳細は9ページをご覧ください
5. 事故になったときには「自動登録事故回答用紙」が届きます。事故内容を整備して返送して下さい
→詳細は11ページをご覧ください

下記の牛は自動登録の対象にはなりません。従来どおり個々の登録申込みが必要です。ご注意ください。

①受精卵移植(ET)による生産牛 ② 輸入牛 ③ 雄牛

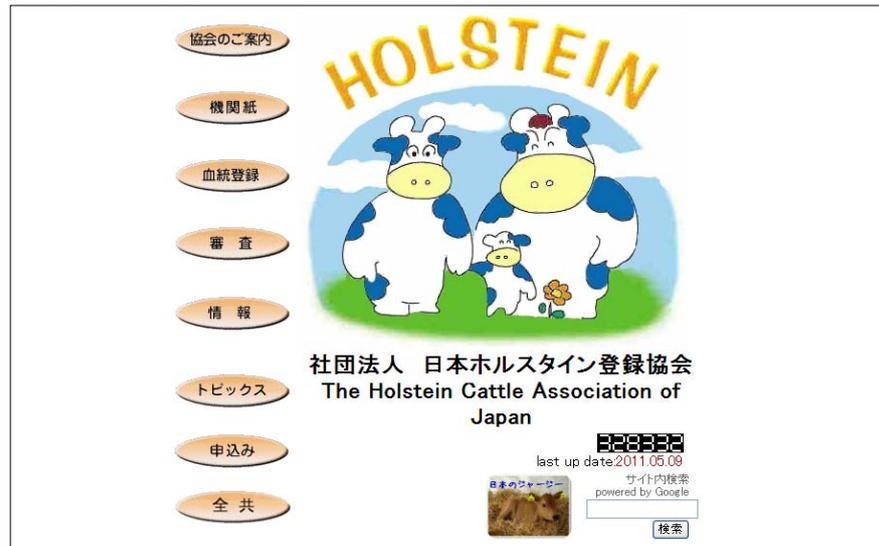
1. 日本ホルスタイン登録協会のホームページを利用して授精記録を入力・送信して下さい

1) 日本ホルスタイン登録協会のホームページを開きます。

当協会HPアドレス：

<http://hcaj.lin.gr.jp>

[画面1：協会トップページ]



2) メニュー画面で、カーソルを下方へ移動し、画面2のホルスタインとジャージーの画像(Oの部分)をクリックして下さい。

[画面2：家畜改良データバンクヘルリンク]



3) 画面3で「会員情報」をクリックして下さい。

[画面3：家畜改良データバンク/ホルスタイン・ジャージー]



- 4) 画面4で「農場コード」と「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックして下さい。

[画面4：家畜改良データバンク/ログイン]

- ① 農場コード：家畜個体識別センターに報告する際のコード(10桁)
- ② パスワード：10桁以内の数字（電話番号の下4桁、または事前に割り振られた数字）
 - ・パスワードが分からない場合は、各都府県支部・承認団体にお問い合わせ下さい
 - ・入力箇所の移動には、Tab キーをクリックするか、マウスで移動してクリックして下さい
- ③ 「ログイン」をクリックして下さい
 - ・入力内容を誤ったときは「キャンセル」を、終了するときは「終了」をクリックして下さい

- 5) 画面5で「人工授精入力」をクリックして下さい。

[画面5：家畜改良データバンク/種別選択]

- ・「ログアウト」をクリックすると、画面4(家畜改良データバンク/ログイン画面)に戻ります
- ・終了するときは、「終了」をクリックして下さい

6) 画面6で「人工授精データ」を入力し、誤りがないことを確認した後に、データ送信を行って下さい。

[画面6：家畜改良データバンク/人工授精データ入力]

家畜改良データバンク

■ 人工授精データ入力

農場コード _____ 授精師コード _____

登録番号 (個体識別番号)	授精年月日	授精回数 (移植)	種雄牛種別	交配種雄牛	ラベルNo	供卵牛番号
1205029551	2009年10月10日	1	乳用牛	53156		
1205029407	2009年10月11日	1	乳用牛	51940		
		0	乳用牛			
		0	乳用牛			
		0	乳用牛			
		0	乳用牛			
		0	乳用牛			
		0	乳用牛			
		0	乳用牛			

①

授精した雌牛登録番号と授精年月日

交配種雄牛の登録番号または略号

② ⑤ ⑥ ⑦

クリア 確認 送信 戻る 終了

① 人工授精した雌牛について、必要な項目を入力して下さい。導入牛や預託帰りの牛で受胎が確認されているものについても、忘れず入力を行って下さい。

入力には半角英数字を使用し、全角文字は使用しないで下さい。

- 授精師コード：免許証番号を入力。免許証番号がない/不明なときは、農場コードを入力
- 登録番号：授精した雌牛の登録番号(個体識別番号)
- 授精年月日：西暦年で入力 (例) 2010 11 11
- 授精回数：何回目の授精であるかを入力。不明の場合は空欄
- 種雄牛種別：▼ボタンで乳用種、肉用種の別を選択
- 交配種雄牛：登録番号または略号を入力

(例) 国内種雄牛は 54321 または JP5H54321

海外種雄牛は 11H01234

和牛は P黒123 → PBL123 で入力

注1) このシステムでは、カナや漢字が使えません。したがって、和牛を交配したときの種雄牛略号は、便宜、「黒」の代わりに「BL」を使って、次のように入力して下さい。

この入力表示は自動登録の授精報告のみに使用します。牛群検定の繁殖報告は、従来どおり「P黒〇〇〇」を使用して下さい。

注2) 受精卵移植したときは、交配種雄牛欄に「ET」と入力して下さい。

- ・ ラベルNo. : 精液証明書番号(未入力でも可)
 - ・ 供卵牛番号 : 受精卵移植したときは、供卵牛の登録番号
- ② 1画面で10頭まで入力できます。入力後は「確認」をクリックして下さい。登録番号の入力ミスや全角、漢字、カナなどの入力エラーがないかを確認します。エラーがあるときはその部分が赤く表示されますので修正して下さい。
- 注1) 入力途中のまま放置すると **10分間で入力データが消去**されます。したがって、作業途中でパソコンから離れるときは、入力済みデータを「確認」し、「送信」を必ず済ませるようお願いいたします。
- 注2) **「クリア」をクリックすると、画面上の入力データがすべて消去**されるので、注意して下さい。
- ③ 入力内容にエラーがないことを確認して下さい。
- ④ 入力済みデータは、**送信後はパソコン内に保存されません。**入力データを保存したいときは、送信前に次のいずれかの操作を行って下さい。
- i) 入力/確認後、キーボードにある Print/Screen/SysRq ボタンを押します。次にエクセルなどの画面を開いて、マウスを右クリックして「貼り付け」をクリックすると、入力済画面(全体)がコピーされます。
 - ii) 入力/確認後、マウスを右クリックし「全体を表示」、もう一度右クリックで「コピー」をクリックします。次にエクセルなどの画面を開いて、マウスを右クリックし「貼り付け」をクリックすると、入力済画面がコピーされます。
- ⑤ **「送信」をクリック**して下さい。データが送信され、画面左下に赤色表示で**「人工授精入力完了しました」**というメッセージが出ます。
- ⑥ 授精データを続けて入力するときは、①～⑤の操作を繰り返し行って下さい。
- ⑦ データ入力と送信が終わったら、「終了」をクリックして下さい。

2. 子牛が生まれたら、3日以内に個体識別耳標を装着し速やかに家畜個体識別センターへ「出生報告」を届出下さい

- 1) 双子(または三つ子以上)のときは、必ず全て同時に耳標装着し出生報告して下さい。異性双子(または三つ子以上)の雄牛も同様です。
- 2) 牛の転入(導入、預託帰り)・転出(死亡、除籍)があったときは、家畜個体識別センターに、速やかに「異動報告」を行って下さい。

3. 子牛の希望名号、雌双子、赤白斑、異常斑紋、異性双子、虚弱体質、死亡したときなどは、出生報告後7日以内に「自動登録実施農家連絡書」に記入し、F a x で連絡して下さい

自動登録実施農家連絡書（記入例）

自動登録実施農家連絡書

この連絡書は希望名号・双子・毛色・登録申込延期等に使用するもので、出生報告後1週間以内にFAXにて連絡願います。

(社)日本ホルスタイン登録協会登録部宛
 FAX 03-3383-2503 連絡年月日 平成 23 年 1 月 1 日
 電話 03-3383-2501 県名 東京都 登録申込者 ホル協太郎 農場コード 0333832501

1. 連絡欄（耳標番号、出生報告年月日を入力し、該当する項目すべてを○で囲んで下さい）

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	出生報告年月日	平成 23 年 1 月 1 日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子 片方死亡	異性双子 登録延期	虚弱体質 登録延期	異性双子 登録取消	虚弱体質 登録取消	死亡 登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号	トレント		マスター		サマー		RED		フタコ			

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	0	1	出生報告年月日	平成 22 年 12 月 31 日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子 片方死亡	異性双子 登録延期	虚弱体質 登録延期	異性双子 登録取消	虚弱体質 登録取消	死亡 登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	1	2	出生報告年月日	平成 E 年 12 月 31 日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子 片方死亡	異性双子 登録延期	虚弱体質 登録延期	異性双子 登録取消	虚弱体質 登録取消	死亡 登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	2	3	出生報告年月日	平成 23 年 1 月 1 日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子 片方死亡	異性双子 登録延期	虚弱体質 登録延期	異性双子 登録取消	虚弱体質 登録取消	死亡 登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

2. その他の連絡欄

個体識別番号1124567890 H22.12.31に分娩したが死産
 1234567912は異性双子で登録延期したが、分娩したので登録して下さい 子牛個体識別番号1234567801

1) 生まれた雌子牛について次の事柄に該当するときは、「自動登録実施農家連絡書」に記入して、出生報告後7日以内に日本ホルスタイン登録協会にF a x で連絡して下さい。

※「自動登録実施農家連絡書」は、当協会のホームページ「申込み」からダウンロードして利用して下さい。または同ページにある「自動登録実施農家連絡書（入力用）」から直接内容を入力して、メールでの送信も可能です。

① 希望名号をつける場合（6ページ記入例のA）

- 「1.連絡欄」に雌子牛の耳標番号と希望名号を記入して下さい。

- ・ 名号は「3名法」(母牛から1単語+父牛から1単語+独創的な単語)を基本とし、単語間のスペース、濁点、半濁点をそれぞれ1文字分として、特殊名号である「RED」「OC」「フタゴ」を含めて32文字以内とします。
- ・ 同一牛群内での同一名号は避けて下さい。
- ・ 間違いやすい文字は区別がつくようにハッキリと記入して下さい。
(例)「ア」と「マ」、「シ」と「ツ」と「ミ」、「カ」と「ヤ」、「エ」と「コ」と「ク」など
- ・ 下表の「命名の取り決め」にしたがって、命名して下さい。
- ・ このほか相応しくない名号は、修正することがありますので、ご了承下さい。

[命名上の取り決め]

命名例	内 容
ABCDE	名号の中に、5文字までの英単語は2単語以内、全10文字まで使用できます。但し、カナ文字名号も2単語以上使用して下さい
12345	名号の中に、5文字までの数字単語は2単語以内、全5文字まで使用できます。但し、カナ文字名号も2単語以上使用して下さい
135TH、HA5	数字と英文字の混在は、使用できます。 「123TH」や「HA5」と、そのまま命名されます
SWデー、デーSW	英文字とカナの混在は、使用できます。 「SWデー」および「デーSW」と命名されます
ナンバー15	カナと数字は混在できません。 「ナンバー 15」と空欄が入り、命名されます
4-55	数字間の「-」ハイフンは使えません。 「4 55」と空欄が入り、命名されます
B, C	「,」コンマは使えません。「B C」と空欄が入り命名されます
B. C	「.」ドットは文字間に一つ、合計二つまで使用できます。 「B. C」と命名されます
I、II、III &、#、/、()	ローマ数字は使えません。「1」「2」「3」と算用数字に変換されます 記号は使用できません
OC、RED、ET オーシー、レツド、イーテー	使用できません
双子のツイン、TWIN	ツイン・TWINは使用できません。 双子は名号末尾に「フタゴ」と命名されます
双子の1、2	数字は名号の先頭、または「フタゴ」の前に付けます。「1…フタゴ」「2…フタゴ」、「…1 フタゴ」「…2 フタゴ」と命名されます
双子のA、B	英字は「フタゴ」の前に付けます。「…A フタゴ」「…B フタゴ」と命名されます

② 赤白斑(RED)、異常斑紋(OC)の場合 (6ページ記入例のB)

- ・ 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「RED(赤白斑)」または「OC(異常斑紋)」を○で囲んで下さい。

本牛および母牛がホルスタイン種の毛色、特徴を備えているかを確認して下さい。

本牛および母牛は、正常な黒白斑または異常黒白斑(OC)、赤白斑(RED)とします。更紗毛(さらさげ)や白、黒又は赤一枚毛のものや、改良上排除すべき著しく生理機能を損ずる遺伝的的不良形質のあるものは登録できません。

③ 雌の双子(または三つ子以上)の場合(6ページ記入例のC)

- ・ 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「雌双子」を○で囲んで下さい。

- ・ 片方が死産/死亡したときは、生きている方の子牛の耳標番号を記入し、「雌双子片方死亡」を○で囲んで下さい。片方が死亡した場合でも、登録の際には名号の末尾に「フタゴ」が付きます。
 - ・ 雌の双子の片方が耳標装着後に死亡したため登録を取消したい場合は、死亡した方の子牛の耳標番号を記入し、「死亡登録取消」を○で囲んで下さい(5 ページ記入例のE)。
 - ・ 異性双子の雌は、フリーマーチン検査で「フリーマーチンでない」と推定される、もしくは受胎確認(妊娠鑑定書必要)または分娩確認(分娩した子牛の個体識別番号要連絡)まで登録できません。下記④により「登録延期」して下さい。
- ④ 異性双子の雌や虚弱体質、または遺伝子型検査の親子判定中などで登録を延期する場合(6 ページ記入例のD)
- ・ 子牛が異性双子の雌や虚弱体質で登録延期するときは、「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「異性双子登録延期」もしくは「虚弱体質登録延期」を○で囲んで下さい。
 - ・ 子牛が遺伝子型検査の親子判定中のため登録延期するときは、「2.その他の連絡欄」にその旨を記入して下さい。
- ⑤ 雌牛が生まれたが、遺伝子型検査によるフリーマーチンの判定を行う場合
- ・ 分娩時に無形無心体等の何らかの付随物があった場合にフリーマーチンの判定をするため登録を延期、または取消する場合は、「2. その他の連絡欄」に記入して下さい。
- ⑥ 同一発情期に2頭以上の異なる種雄牛を授精した場合
- ・ 「2. その他の連絡欄」に記入して下さい。
 - ・ その後、子牛の正しい父牛を確定するために、遺伝子型検査(親子判定)の申込みを行って下さい。その際、授精した種雄牛を全て遺伝子型検査申込書に記入して下さい。
 - ・ 遺伝子型検査を受けない場合は、子牛の登録はできません。
- ⑦ 耳標装着後死亡牛、異性双子の雌または虚弱体質などで登録を取消する場合(6 ページ記入例のF)
- ・ 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「死亡登録取消」、「異性双子登録取消」もしくは「虚弱体質登録取消」を○で囲んで下さい。
- ⑧ 死産及び産子が耳標装着前に死亡した場合、または流産等をした場合(6 ページ記入例のG)
- ・ 「2. その他の連絡欄」に母牛の耳標番号と分娩又は流産の年月日を記入して下さい。
- ⑨ 上記以外に連絡すべき内容があれば「2. その他の連絡欄」に記入して下さい。

注) 前記④⑤⑥で登録延期していた牛を後日登録するときは、「1.連絡欄」耳標番号を記入し、「延期牛の登録申請」を○で囲んで下さい。(6ページ記入例のE)

なお、異性双子の雌の場合は、フリーマーチンでないと推定された遺伝子型検査成績報告書または妊娠鑑定書の写しを添付してF a xで連絡して下さい。分娩が確認された場合は、子牛の個体識別番号を「2. その他の連絡欄」に記入して下さい。

遺伝子型検査の親子判定中で登録を延期していた場合は、親子関係に矛盾のない遺伝子型検査成績報告書を添付してF a xで連絡して下さい。

※自動登録実施農家連絡書で報告した内容を変更/訂正するときは、内容を確認の上、新たに連絡書を作成し、報告年月日を記入して、再度F a xで連絡して下さい。

4. 子牛は母牛の所有者名義で登録されます。同一家族内で登録牛の所有者を変更するときは、「登録牛の同一家族への所有者変更届」に記入し、F a xで連絡して下さい

1) 子牛は、母牛の所有者名義で登録されます。導入牛は「自動登録申込書」において申請のあった方の名義になりますので、ご承知おき下さい。

2) 同一家族内であれば、登録牛の所有者を変更することができます。「登録牛の同一家族への所有者変更届」に必要事項を記入してあなたの都府県の当協会支部・承認団体(団体印)まで送付願います。

※「登録牛の同一家族への所有者変更届」は、当協会のホームページ「申込み」からダウンロードして利用して下さい。

登録牛の同一家族への所有変更届（記入例）

登録牛の同一家族への所有者変更届			
下記登録牛の所有者を次のとおり変更したく、届け出ます。			
			平成 23 年 1 月 1 日
家畜個体識別センターに報告している農家コード	0 3 3 3 8 3 2 5 0 1		
自動登録申込者名	ホル協太郎 ㊞		
変更後の所有者名 <u>ホル協大介</u> (家族に会員がいる場合)	会員番号	3 6 0 0 2 1 2 3 2 4	
氏名 <u>ホル協花子</u>	会員番号	3 6 0 0 2 1 2 3 3 5	
氏名 _____	会員番号	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
支部・承認団体名 <u>東京都XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</u>	㊞		
所有者を変更する牛			
(いずれかに○をつけて下さい。2. の場合は所有者変更希望欄に記入願います)			
① 所有牛全頭を変更希望(下記の表は記入不要)			
2. 下記の所有牛のみ変更を希望			
変更を希望する牛(登録番号と個体識別番号が同じ場合は、個体識別番号を省略可)			
牛群検 定 コード	登 録 番 号	個体識別耳標番号	生年月日

所有変更届の記入項目

- ① 報告年月日
- ② 家畜個体識別センターに報告している農場コード 10 桁
- ③ 自動登録申込者名と捺印
- ④ 変更後の所有者名と会員番号
- ⑤ 家族に会員がいる場合はその氏名と会員番号
- ⑥ 支部・承認団体名と団体印
- ⑦ 所有牛の(1)全頭または(2)一部を変更するか、○印をつける
- ⑧ 一部変更の場合は変更する牛の牛群検定牛コード
- ⑨ 登録番号
- ⑩ 個体識別耳標番号：登録番号と同じ場合は省略可
- ⑪ 生年月日：和暦

3) 自動登録農家では、登録牛の導入や同一家族間で、原簿上での所有者を変更する場合は、移動証明料はかかりません。ただし、血統登録証明書に所有者等の追記を必要とする場合には、従来の移動証明申込(有料)が必要となります。

5. 事故になったときには「自動登録事故回答用紙」が届きます。事故内容を整備して返送して下さい

自動登録で事故になったときの申込書（記入例）

自動登録事故回答用紙（ホルスタイン種）

★凍結精液ラベル貼付（授精証明書省略時）

申 込 牛	耳標番号	1	3						
	旧登録番号 又は外国番号					A・C・U・()			
父 牛	生年月日	2	3	年	0	1	月	父牛の登録 番号と名号 を記入する	U:オーストラ リア R:フランス F:タグ M:ミ ゴ
	雌・雄	RED	OC	ET					
母 牛	登録番号	1234567992				無登録			
	名号	トノトローヤイブラッド				登録中			
申 込 者	住所名								
	会員番号					- 2 - 8			

授精証明書を添付しない場合は、下欄に記入してください。

精液注入雌牛生年月日	1	8	年	0	6	月	0	1	日
精液注入年月日	2	2	年	0	4	月	2	1	日
精液注入時飼養者住所									申込者 と同じ
氏名									
家畜人工授精用 精液証明書番号									
注入精液路号									

上記のとおり相違ありません。

自家授精 (右側省略)	獣医師・家畜人工授精師 所属団体名	免許番号	号
	獣医師・家畜人工授精師名		印

※照会事項（エラー内容）
○種雄牛登録番号・精液注入年月日を調査・確認願います。
矛盾がある場合は必ず授精内容が確認できる書類を添付願います。

回答者署名

※照会番号

1) 事故になったときには、上記のような「自動登録事故回答用紙」（以下、「回答用紙」）が届きます。「回答用紙」右下欄の照会事項(エラー内容)を確認し、必要な書類などを整備して、あなたの都府県の当協会支部・承認団体まで返送して下さい。なお、回答用紙には回答者の署名をお願いします。

① 交配種雄牛および授精年月日に関する事故：

正しい授精内容を「回答用紙」に記入して下さい。
併せて、この授精に係る人工授精証明書(写し可)または家畜人工授精簿や種付台帳などの写しを添付して下さい。

② 在胎日数の矛盾：

授精年月日および分娩年月日に間違いがある場合は、正しい授精内容を「回答用紙」に記入して下さい。
併せて、この授精に係る人工授精証明書(写し可)または家畜人工授精簿や種付台帳などの写しを添付して下さい。

授精年月日および分娩年月日に間違いがない場合は、それを確認できる人工授精証明書(写し可)または家畜人工授精簿や種付台帳などの写しを「回答用紙」に添付して下さい。ただし、家畜人工授精簿や種付台帳などを確認した上で、在胎日数が260日～264日もしくは296日～300日の場合は、「回答用紙」欄外に「早産」「遅産」を付記すれば、人工授精証明書または家畜人工授精簿や種付台帳などの添付が省略できます。

- ③ **母牛が無登録**：母牛が無登録の場合は、血統登録の申込みが必要となります。「回答用紙」に「**母牛登録申込み予定**」と記入して下さい。母牛の登録申込みがあるまで子牛の登録は保留となります。ただし、やむを得ず母牛の血統登録申込みができない場合は、母牛がホルスタイン種の毛色・特徴を備えているかを確認の上、「回答用紙」母牛欄の「無登録」に○印をつけて下さい。申込牛は血統濃度 50%で登録します。
- ④ **異性双子の雌**：異性双子の雌牛は、受胎または分娩が確認されないものは登録できません。「回答用紙」に**登録を延期または取消する旨**を記入して下さい。登録を急ぐときは、別途に遺伝子型検査によるフリーマーチンの判定の申込みを行って下さい。後日、登録するときは、受胎が確認された場合は妊娠鑑定書の写しを、遺伝子型検査により「フリーマーチンではない」と判定された場合はその検査成績報告書の写しを「回答用紙」に添付して下さい。分娩が確認された場合は、子牛の個体識別番号を「回答用紙」に記入して下さい。